

求める会ニューズ No. 988

〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22 神戸学生青年センター内
 食品公害を追放し安全な食べ物を求める会
 TEL&FAX : 078-862-1866
 ■URL : <http://www.motomerukai.com>
 ■Email : info.motomerukai@gmail.com

食料環境セミナー報告

2021年5月26日(水) 14:00~15:30
 「コロナ時代と私たちの暮らし」
 神戸学生青年センター 移転記念講演
 神戸大学名誉教授 保田茂さん

1972年に神戸学生青年センター設立。1973年に食品公害セミナー開始。一回目が「今何を学び、何をすればよいか」というテーマで保田先生の講演でした。時代の変化とともに食べ物や環境に関する課題について色々と学んできました。今回は新しい会場での初講演です。

コロナ禍の中での生活をどのようにとらえ受け止め、向き合っていけばいいのか。

1) コロナウィルス19の世界的な流行例のない国境封鎖・人と物の流通途絶・経済活動の大幅縮小・資源や部品、食料のサプライチェーンの切断・食料輸出停止の動き・自国優先政策・一時期種の輸入が止まる。さいわい食糧危機は発生しなかった。

2) コロナウィルス19の教訓

- ① 食文化の重要性・野生動物との付き合い方
- ② 過密都市の矛盾・コロナ流行は農村には無縁
- ③ 外食機会の減少と生活能力の再確認

調理の技術・生活能力と食文化を大切にすることをこの危機に学んだ。大事なものは食糧の確保

3) 繰り返し発生する世界的危機→備えの重要性
 中世から近年に至り世界的な感染症は後を絶たない。我が国の自給力は人口大国の中では最低レベル。食糧を作る仕事を学ばねばならない。農村に帰ることが大事。食糧自給力には働く人・土・水・技術・組織・種子の動向(日本で

育てた種を作らねばならない)・種を復活させていこう。農業が一番大事。広い空間での仕事は沢山ある。震災を振り返ると、阪神大震災時には食料と水を失い、飢えに直面した。近隣農村から迅速に大量のおにぎりや水が届けられた。震災大国日本の備えは大丈夫なのか。

4) ポストコロナと私たちの暮らし

世界は今大きな危機に直面している。人口増大・気候変動・繰り返されるパンデミック・絶えることのない紛争。我が国にあっては超高齢化社会の到来、経済成長の鈍化、失業率の上昇、農村の崩壊、耕作放棄地の増加、食料自給力の低下など次世代への負の遺産が増加しつつある。

政府は2050年までに有機農業面積を現在の40倍に増やすとする構想。誰が生産を担うのか? 誰が有機農産物を評価するのか?

兵庫県の環境創造型農業の推進、2011年から有機農業教室を開設。誰にでもできる理論・思想・技術の学習運動を広めている。神戸市内に新たな若者の食農運動の誕生。有機農業教室は10ヶ所になり新しい運動が始まっている。若い世代と接点を作っていかなければならない。就農希望者が増加傾向にあり有機農産物の生産・評価をしてほしい。

ポストコロナ時代の仕事の在り方と農村・農業の再構築につながる暮らしの実践が求められる。4つのキーワード→いのち・暮らし・子供・コミュニティ。一新した神戸学生青年センターで再び若者が集い新たな活動を始める拠点になるよう強く願っている。(本一G 福本志津子)

7月のカレンダー



7月14日(水) 部会
7月20日(火) 共同購入申込締切日
自動引き落とし日
7月21日(水) 全体会
7月28日(水) 食料環境セミナー

◇お知らせ◇

求める会閉会後も市有研の野菜をご希望の方に、橋本さんと、一色さんのどちらの野菜を取っていただくことになるか、グループごとの一覧表を作りました。別刷りで今月号のニュースと一緒にお配りしています。

どうかご覧ください。

【事務所のTel/Fax 番号の訂正】

先月ニュースとともに配布した「2021年度世話人役割分担表」で、欄外に記載された事務所のTel/Fax 番号が間違っていました。正しいTel/Fax 番号は、

078-862-1866 です。

間違った番号先に電話やFAX が送られて、大変ご迷惑をおかけしたようです。

お詫びして訂正します。

第24期 〈農 塾〉

時間 15:30~16:30 お話&農産物販売
会場 ウェスト100 1F 会議室A

(申し込み不要、参加費無料)

求める会と関係の深い生産者のお話です。

7月3日(土) 池野創人さん 提携を経験した感じたことや、獣害や水害に遭いながらの農家の仕事について。

8月7日(土) 太田光宣さん Iターンの生産者として経験した困難や、給食の有機化に協力している現状について

9月4日(土) 高木力さん 目の前に水路があっても使えない水権利の仕組みについて、近隣の例から。

7月全体会議題

- ① 総会の結果報告
- ② 会の今後について
 - ・ 回答のまとめ
 - ・ 残金の処理について

7月のお米について

～実務部よりお知らせ～

高木さんのお米が6月で不足となりました。昨年、低温のため不作になったとのことでした。

そこで、7月分だけ保田先生の知人の西村さんより久美浜の営農組合(代表・笹倉さん)を紹介していただき、そこのお米を頂くことになりました。(袋には「田吾作」という字が表示してあります。)

無農薬、無化学肥料で有機農業と変わらない栽培方法で、低温貯蔵しておられます。味は良いとのことでした。

なお、今年のお米の注文は7月までとなり、8月の注文はありません。

ご了承ください

食料環境セミナー

7月28日(水) 10:30~12:00

「食べるとはどういうことか」

京都大学人文科学研究所准教授

藤原 辰史 さん

会場：神戸学生青年センターホール
(ウェスト100 2F)

参加費・600円

「ろっこう おーがにつく市」

神戸学生青年センターと「くらしの中のおーがにつく」の共催で、毎週土曜日に開かれています。

会場：ウェスト100

10:00~12:00 オーガニックの農作物や加工品の販売

12:00~13:00 生産者との交流